

## 車歴と愛車の話



旭川市医師会  
JA北海道厚生連旭川厚生病院

きたおか  
貴田岡

とおる  
享

若者の自動車離れといった話題も耳にしますが、1969年生まれの私にとって自動車は依然として最も興味のある対象の一つです。20年来、片道約1.7kmの徒歩通勤を続けていますが、駐車中であつたり、車道を走ったりしている多種多様の自動車を観察するのはとても楽しく、珍しい車や好きな車・凄い車に出会うと本当に嬉しくなります。

私の車歴はAE92スプリンタートレノ (FF) から始まり、AE101カローラレビン (FF)、SW20 MR2 (MR)、2代目アウディA4セダン (4WD)、ランドローバーフリーランダー2 (4WD) と乗り換えて、十数年前にはかねてからの憧れであったメルセデスベンツGクラス (4WD) を購入。それは10年以上前に登録された中古車だったのですが、右ハンドルの5,000ccV8ガソリンというちょっと珍しいモデルでした (尚、ショートならもっと珍しかったと思いますがロングでした)。まるで金庫に入って運転しているような重厚な車であり、その操作感・安心感も含めとても気に入っていたのですが、なかなかの低燃費 (冬季間の街乗りで3~4km・無論ハイオク) と故障した場合の修理費に対する過大なプレッシャーがあり、2年程度で手放してしまいました (結局全くのノートラブルでしたが)。このGクラスから乗り換えたのが現在の愛車であるJB23で、エンジン排気量は前車の5,000ccから660ccと約1/8になりました。もともとジムニーにはあまり興味がなかったのですが、APIOという老舗メーカーのコンプリートカーのルックス (オリジナルのグリル・フロントガーニッシュ&バンパー) をたまたま雑誌で見て気になるようになりしました。当時から多くのショップがJB23用のオリジナル外装パーツを販売していたのですが、このAPIOジムニーには正に一目惚れといった感じです。旭川から行くのは結構面倒でしたが、神奈川県綾瀬市にあるショップを訪問し試乗させていただいた結果、購入することを決意。大体、このパターンは訪問すると決めた段階で既に購入を決めていることが多いと思います。多種多様なパーツを収載したカタログを眺めながらあれをつけようか、これをつけようかと悩む期間は毎度のことながらとても幸せな時間でした。数か月後に無事旭川へ納車され、初めての軽自動車生活がスタートした次第です。JB23に搭載されているのはK6A型という低速トルク重視の660ccターボエンジンですが、もとより高速道路を走る機会も少ないため街乗

りではあまりストレスは感じません。設計年次の古いエンジンなので街乗りの燃費が10kmに満たないのはご愛嬌ですが、コンディションは絶好調。ターボ車なのであまり走行距離が伸びていなくても半年毎にしっかりオイル交換をしています。燃費以外の維持費の安さは想像以上で、多少値上がりした現在でも自動車税は普通乗用車の1/3程度。何より大雪の際は軽量な車体に大径タイヤとリフトアップしたサスペンションの恩恵による安心感が絶大です。トラクションコントロール等の電子制御デバイスが付いていないのがちょっとした不安点ではありますが、その分冬季のアイスバーンを走行する場合は確実な減速・ブレーキ操作など慎重に運転することを心がけています。

ジムニーは現行モデルのJB64が大人気で、今でも納車までかなりの期間がかかると聞いています。現行のJB64を街中で見かける機会も本当に増えてきましたが、JB23もまだまだ多く走っています。JB23ジムニーは1型~10型まで変更・改良を重ね20年の長期間に渡って販売された車であり、グリルやボンネット・ボディカラーなどからある程度分類することが可能です。私は街中でJB23を見かけると「お、あのグリルとカラーは1型ではないか?これは4型かな」などと一人で楽しんでます。先先代のJA12/22や更にその前のJA11なども時折元気に走っている姿を見かけますが、経年変化でやれていても、逆に非常に綺麗な状態であっても、それぞれに格好良さがあるものです。自分のJB23もこんな風に車齢を重ね、多少珍しく思っただけで買える位まで大切に乘っていければと思いますが、そのために大事になるのが前述のエンジン管理に加え、錆対策でしょう。大量の融雪剤が散布される北海道の冬道は設計年次の古いラダーフレームのJB23にとって非常に過酷な環境です。そこで私は納車時に下回りはもちろんライトバフやフェンダーの内側など弱点と言われる部分も含め徹底的な防錆塗装を施行してもらいました。まああのコストがかかりましたが、長く乗り続けることでこのコストを回収できればと考えています。この度無事7年目の車検を通過しましたので、次は2年後9年目の車検に向けてこの車と過ごしてまいります。

以上、ここまで愛車JB23について延々と書かせていただいたのですが、実は我が家には数年前からもう1台の愛車があるのでした。惜しまれつつも2022年3月で生産終了となったホンダS660については、もしまた機会があればお話しさせていただきたいと思います。